

授業科目 相談援助各論 III

【担当教員名】 豊田 保	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○

【概要・一般目標：GI0】
 相談援助における対象について理解する。
 相談援助の方法について理解する。

【学習目標・行動目標：SB0】
 相談援助の対象を実践的に理解する。
 ケアマネジメントの実践方法を理解する。
 グループを活用した相談援助を把握する。
 コーディネーションとネットワーキングを理解する。
 相談援助における社会資源について把握する。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション		講義による学習（以下、同じ）
2	相談援助の対象の概念と範囲		
3	個人と家族についての理解		
4	グループについての理解		
5	地域社会についての理解		
6	ケアマネジメントの意義		
7	ケアマネジメントの方法		
8	グループを活用した相談援助		
9	コーディネーションの意義		
10	コーディネーションの方法		
11	ネットワーキングの意義		
12	ネットワーキングの方法		
13	相談援助における社会資源の活用		
14	ソーシャルアクションについて		
15	まとめ		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法 II	白澤政和、福山和女、米本秀仁	中央法規出版	2015・2,808円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 期末試験またはレポートによって評価する（80点）。出席状況によって評価する（20点）。	【履修上の留意点】 教科書を個人で読了すること。
---	-----------------------------